

強い！使命感・熱い情熱

大東消防署東分署 消防隊
消防士 杉本 和紀 （令和3年度入職）

当時の救急隊のように

私が消防士を志したのは、妹が救急搬送された際に来て下さった救急隊に憧れたことがきっかけです。当時私は小学校 2 年生で、苦しんでいる妹に頑張ってと声をかけ泣くことしかできませんでした。そんな中、救急隊の方は、妹そして私たち家族にまで優しく声をかけながら、落ち着いて手際よく処置を施しており、この人たちなら大丈夫、助けてもらえると安心できたことを今でも鮮明に覚えています。

私は、当時の救急隊のように傷病者そして家族の方にも安心感を与えられる消防士になるため日々訓練に励んでいます。

非日常的

消防学校を修業後、消防隊に配置され職務に励んでいます。24 時間勤務で出動指令があれば火災、救助及び救急現場に幅広く出動しています。各現場には非日常的なことが起きているため、簡単に人の命を救えるような現場はありません。その中でも、救うことができた際にはとてもやりがいを感じられます。



チームの絆

消防士は火災、救助及び救急等の危険を伴う災害現場においてチームとして活動するため、隊員同士の連携や信頼関係が大切な職場です。そのため、災害現場のみならず、訓練中など厳しいこともたくさんありますが、その分、自分自身の存在意義を強く感じることができます。市民の安心・安全のため、常に強い使命感・熱い情熱を持って、私たちのチームの一員となり、一人でも多くの人を助けたいきましょう。

